



一般社団法人

富山県作業療法士会 ニュース

平成27年度 No.1

第 116 号 平成27年 6 月20日

発行 富山県作業療法士会

会長 田 村 良 子

印刷 (株) チューエツ

富山県作業療法士会ホームページ <http://toyama-ot.sakura.ne.jp>

富山県作業療法士会会員数：537人

作業療法士は「生活行為向上」でガッチリ！



会 長 田 村 良 子

今年度の県士会の新事業は3つあります。1つ目は、「生活行為向上マネージメント」と「認知症初期集中支援」について

全員が学び、OTとしての技術を身に付けるよう各学術部会が担当して各地区で開催します。どちらも老年期のものだけでなく、どの領域であってもOTとしてのスタンスになるものだからです。3月の総会時の「生活行為向上マネージメントー概論」には170名程の参加がありました。5月24日に新川地区で開催される演習には80名の申込みがあります。またこの研修は、27年度介護報酬改定では生活行為向上リハビリテーションの算定要件にもなりました。これまでのリハビリテーションが心身機能の改善が主となり活動・参加へのアプローチがおろそかになっていた事への警告です。そのことをOTは真摯に受け止めるべきだと思います。認知症についても高齢者人口が増える中、当然認知症になる方も多くなります。自分自身の姿でもあります。地域でどう見守り、生き生きと過ごしてもらうのか。OTの仕事でもあり、地域住民の1人としての役割も果たしていく必要があります。

2つ目は、PT,OT,ST士会が合同で富山県リハビリテーション専門職協議会を設立し、富山県高齢福祉に係わる地域リハビリテーション支援体制の整備や県及び市町村からの受託事業の調整、人材育成、リハビリテーション専門職活用に関する広

報などを行います。これは昨年度に出された新しい介護予防事業の（新）地域リハビリテーション活動支援事業に対応していくものでもあります。この事業は地域における介護予防の取組を強化するために、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場等へのリハビリテーション専門職等の関与を促進するものです。先に県士会から地域リハビリテーションへの係わりの実態、どのような形でなら派遣依頼に応じる事ができるかについてアンケート調査を行いました。それをもとに多くの士会員がこの事業に参加できるようにしていきます。

3つ目は第56回作業療法全国研修会の開催です。新幹線の開業に合わせて27年度の開催を要望していたもので、9月26、27日富山国際会議場で行われます。地元で開催される研修会ですので皆さん是非参加して下さい。今、OTに必要な知識がコンパクトに14の講座に盛り込まれています。また、県外からの参加者をおもてなししましょう。「きてきて 富山 きときと 富山」のキャッチフレーズがありますが、人も食べ物も空気も水も「きときと」を感じてリフレッシュしてもらいましょう。参加申し込みは7月8日からです。案内のホームページを開設しました。県士会ホームページから

もご覧になれます。
<http://toyama-ot.sakura.ne.jp/h27zenkoku/index.html>

これまでの事業は引き続き知恵と力を出し合っ
てさらにバージョンアップして活動していけるよう
ご協力をお願いします。

生活行為向上マネジメント

ケアポート庄川 松岡 暢

生活行為向上マネジメント（MTDLP）は、日本作業療法士協会が厚生労働省老人保健健康増進等事業を通して開発したものです。4月の介護報酬改定においても、活動と参加に焦点を当てたりハビリテーションの推進が明示され、MTDLPの視点が報酬体系にも取り入れられました。

MTDLPのねらいとして、全ての作業療法士がこのマネジメントを習得し対象者に適切な作業療法を提供できること、そして、対象者と支援目標を共有し、対象者が自分の回復に積極的に関与できることの2点があります。そのためには、以下のことが大切となります。

- ① 人を心身機能の側面から理解するのみでなく、生きる営みである「生活をする人」とし

て包括的に捉える視点

- ② 入院前の生活から退院後の生活まで、一貫した対象者の生活を理解し支援するという包括的アプローチの視点
- ③ 作業の継続性という個人の活動から、地域の社会資源の活用までを幅広く捉える包括の視点

人は作業をすることで元気（健康）になれるという作業療法の良さを一般市民や他職種に分かりやすく伝えることのできるツールとして日本作業療法士協会ではMTDLPの普及に全力で取り組んでいます。今年度県士会でも各部会の協力のもとMTDLP研修を行っていきますので皆さんの参加をお願いします。

生活行為向上マネジメント(概論)の研修会に参加して

老人保健施設 みしま野苑一穂 原田 直美

平成27年3月1日に富山医療福祉専門学校で開催された生活行為向上マネジメント（概論）の研修会に参加させて頂きました。生活行為向上マネジメントが開発された背景から生活行為向上マネジメントの内容、実際の事例紹介とこれまでの研究成果についてお話しがありました。

他県ではすでに生活行為向上マネジメントを活用しているとの話も聞いており、大変興味を持って参加させて頂きました。作業療法士の新たなサービスの在り方として、作業療法士が使う「作業」と「生活行為」を同意語として活用し、365日24時間営まれる生活行為に焦点を当てた作業療法の一つの支援方法を示すものと説明を受けました。

生活行為向上マネジメントの内容は、私たちが普段作業療法として行っているその人の生活の在り方を具体的に分かりやすくしたものだと感じました。何ができると対象者が望む生活に近づくのかという目標設定がセラピストだけでなく、対象者や家族、他職種にも分かりやすくなっており情

報が共有しやすいと思いました。また、目標に対しての実行度や満足度を点数として表記し、達成の可能性の有無も検討するため、対象者がより主体的にリハビリテーションに取り組んでいけると感じました。一つの病院や施設だけの目標とならないよう申し送り表もあり、次の場へと繋いでいけるようになっていきます。どの職種でも情報が分かりやすく伝わることで地域の生活へと繋げやすいと感じました。

これまでの研究成果を聞くと、生活行為向上マネジメントを活用することで、作業療法をすることでどうなるのかという介入効果が、セラピストや対象者に限らず周りに示しやすいと思いました。作業療法をすることの利点や目的が、誰がみても分かりやすくなることで、作業療法の必要性が周りに理解されていくのではないかと思います。

今後は生活行為向上マネジメント（演習）研修会も行われるため、参加させて頂き、活用できるようにしていきたいと思っています。

南砺市民病院のある南砺市は、石川県や岐阜県との県境に位置し、人口54,000人に対して、高齢化率が34%を超え、富山県の5年先、全国の20年先に行く高齢社会先進地域です。また、当院のある旧井波町は、瑞泉寺や井波彫刻などの古き良き伝統だけでなく、豪風や豪雪など自然の雄大さを感じることできる地域です。

病院機能は、地域に根差した急性期病棟91床、回復期病棟36床、地域包括ケア病棟48床と総合診療科をはじめ22の診療科があり、研修医にも定評のある病院です。また、砺波地域リハビリテーション広域支援センターに指定され、地域リハビリテーションの中核病院として位置付けられているほか、平成25年度には、介護保険推進全国サミットが開催され、地域包括「医療」ケアに関する取り組みは、全国的にも知られています。

リハビリテーション科は開設以降、リハビリスタッフを増員し、現在、理学療法士20名、作業療法士19名、言語聴覚士8名の大所帯となっています。デイケアセンターや訪問看護ステーションも併設し、各々にリハビリスタッフが配置されていることから、就職して1年以上経っても、名前と

顔が一致しないことも度々です。

作業療法士のなかには、がんリハビリテーション専従者や心臓リハビリテーション指導士、認知症ケア専門士など、専門的な知識を持つスタッフがいて、相談しやすい環境です。

また、特養やデイサービスへの派遣や認知症初期集中支援チーム、各種講座の開催など、地域事業もたくさん行われ、急性期から維持期まで関わることのできることで、当院の大きな特徴でもあります。

その他、臨床での医師、看護師、コメディカルなどとのチーム医療を大切にするため、スポーツ交流や懇親会、余興などにも力を入れ、公私ともに多職種との距離がとても近いことも特徴です。そのためか、カンファレンスの件数も多く、質の高い患者指導や退院支援が行われていると思います。

今後は、患者さんや地域のニーズに応じてスキルアップを図り、1人でも多くの患者さんが笑顔で過ごせる地域づくりのため、作業療法士として貢献していきたいと思っています。



認知症初期集中支援チーム研修会と窓口のお知らせ

新オレンジプラン（H27.1.27 公表）にて、

「平成30年度より全ての市町村で認知症初期集中支援チームを実施」との方針



◎平成27年度に研修会を行います

6月14日 富山県作業療法士会 総会と同日

テーマ：認知症初期集中支援チーム研修会①『基礎編』

講師：一般社団法人 福井県作業療法士会・認知症対策委員会

たけとう病院 中村 こと美 氏

7月5日(日) 9時30分～12時30分 市立砺波総合病院

11月15日(日) 9時30分～12時30分 富山医療福祉専門学校

* 両日とも、同じ内容で行う予定です。

テーマ：認知症初期集中支援チーム研修会②③『実践編』

講師：南砺市・認知症集中支援チームより

* 3月にお送りした、認知症初期集中支援チーム研修会の案内に、一部誤りがありましたので、正しくは、下記の通りです。

7月5日 認知症初期集中支援チーム研修会③『実践編』 の窓口・申し込み先

(誤)

富山大学附属病院

担当 布村

FAX：076 (434) 7850



(正)

FAX：076 (434) 5085

◎認知症初期集中支援チームに関する相談や問い合わせ、情報はこちらまで

富山県作業療法士会 認知症初期集中支援チーム推進委員

南砺市民病院 地域リハビリテーション科 齋藤洋平

TEL：0763-82-1475 FAX:0763-82-1853

mail：toyama.dementia@gmail.com

新人作業療法士の方 必見

平成27年度現職者共通研修会のご案内

平成27年度の現職者共通研修を開催いたします。この研修は、日本作業療法士協会が創設した「生涯教育制度」最初の必須研修であり、すべての新人作業療法士の方は、受講していただきたい研修です。1年に1回しか受講できませんので、対象の方は、忘れず受講をお願いします。

講義形式のものは、年間数回に分けて行います。第1回目は、平成27年6月14日(日)の総会前ですので、よろしくをお願いします。

〈日程〉第1回 平成27年6月14日(日) 9:45受付 10:00~11:30 (90分間)

実施テーマ：作業療法生涯教育概論

第2回 平成27年7月上旬 午後

第3回 平成27年7月下旬 全日

第4回 平成27年8月上旬 午後

〈会場〉富山医療福祉専門学校

住所：滑川市柳原149-9 TEL：076-476-0001

〈第2～4回実施テーマ〉

- ・作業療法における協業・後輩育成
- ・職業倫理
- ・保健・医療・福祉・地域支援
- ・実践のための作業療法研究
- ・作業療法の可能性
- ・日本と世界の作業療法の動向
- ・事例報告と事例研究

※各テーマ 90分 参加費 500円

参加される方は、下記のアドレスに必ずお申し込み下さい。

また、未定な部分および詳細等については、県士会ホームページまたは、県士会ニュースに掲載しますので、随時ご確認下さい。

申し込み先・連絡先 kamiichi総合病院 作業療法士 能登健司
E-mail toyama.ot.kyouikubu@gmail.com

役員名簿

役職名	氏名	所属
会長	田村良子	地域リハビリ支援室タムラ
副会長	松岡暢	ケアポート庄川
常務理事	広野弘美	富山労災病院
常務理事	丸本薫	谷野呉山病院
常務理事	作田清子	砺波総合病院
理事	浅生弘美	国立病院機構 富山病院
理事	高林一彦	アルカディア雨晴
理事	田邊はるみ	みしま野苑ひかり
理事	谷口利香	あさひ総合病院
理事	橋爪佳美	チューリップ苑
理事	松本和美	高志通園センター
理事	吉波美穂子	富山医療福祉専門学校
理事	森伊津子	厚生連高岡病院
理事	島津康二	温泉リハビリテーションいま泉病院
理事	齋藤洋平	南砺市民病院
監事	高岡厚視	富山県立中央病院
監事	小倉努	黒部市民病院
事業局長	作田清子	砺波総合病院
普及指導事業部長	宮本宏志	南砺市民病院
制度対策部 保険委員会委員長	佐々木真利子	砺波総合病院
認知症初期集中支援チーム推進委員会委員長	齋藤洋平	南砺市民病院
生活行為向上マネジメント推進委員会委員長	松岡暢	ケアポート庄川
福祉用具相談支援事業推進委員会委員長	澤木佳子	富山県介護実習・普及センター
災害リハビリテーション支援チーム推進委員会委員長	高林一彦	アルカディア雨晴
訪問リハビリテーション研究会推進委員会委員長	田邊はるみ	みしま野苑ひかり
学術局長	浅生弘美	国立病院機構 富山病院
基礎医学部会部長	市森知恵	富山労災病院
身体障害部会部長	裏田将司	南砺市民病院
精神障害部会部長	堀口明美	谷野呉山病院
発達障害部会部長	松本奈穂子	くろべ工房
障害老人部会部長	大谷内卓	金沢医科大学氷見市民病院
地域リハビリテーション部会部長	高橋佳孝	南砺市訪問看護ステーション
アクティビティ部会部長	狩野一裕	三輪病院
教育局長	谷口利香	あさひ総合病院
教育部長	能登健司	かみいち総合病院
企画調整局長	丸本薫	谷野呉山病院
企画部長	丸本薫	谷野呉山病院
調査部長	三松勝	南富山中川病院

役員名簿

役職名	氏名	所属
事務局長	広野弘美	富山労災病院
総務部長	吉波美穂子	富山医療福祉専門学校
渉外部長	橋爪佳美	チューリップ苑
財務部長	藤井詩穂	富山市民病院
広報部長	田中康太	砺波総合病院
福利厚生部長	橋本明洋	シルバーケア栗山

一般社団法人日本作業療法士協会 代議員（3名） 高岡 厚視・作田 清子・広野 弘美

会員異動等

種類	氏名	旧所属	新（現）所属
異動	田村良子	自宅	地域リハビリ支援室タムラ
異動	小川美緒	八尾総合病院	株式会社SUDACHiリハビリ倶楽部
異動	西部 薫	アルペンリハビリテーション病院	済生会高岡病院
異動	河原 梓	老人保健施設みしま野苑一穂	富山市民病院
異動	松崎衣里	アルペンリハビリテーション病院	栗山病院
異動	野中美紀	富山協立病院	水橋診療所 通所リハビリのびのび
異動	石橋香織	老人保健施設 みしま野苑一穂	済生会 高岡病院
異動	澤田香織	となみ三輪病院	市立砺波総合病院
異動	川上陽子	光ヶ丘病院	介護老人保健施設 あおぞら
異動・改姓	桶谷紗也加 旧姓：鷓野	太田病院	花かご
異動	能登健司	ゆりの木の里	かみいち総合病院
異動・改姓	宮城由佳 旧姓：松島	水橋診療所通所リハビリのびのび	富山協立病院
改姓	永山鮎美 旧姓：南出		アルペンリハビリテーション病院
改姓	犀川智子 旧姓：表		公立南砺中央病院
退会	小沢京子	富山大学（学生）	県外へ転居
退会	柴田多美子		柴田病院
退会	上丸堅司	誠友病院	県外
退会	中平昇吾	藤の木病院	県外 (訪問看護リハビリステーションあれーず石川金沢)
退会	橋立里恵	島田病院	県外
退会	伊藤雄大	高岡市きずな子ども発達支援センター	県外

平成27年度 第1回理事会

場 所：谷野呉山病院

日 時：平成27年4月13日(月) 19:00～

参加者：作田、浅生、田邊、丸本、吉波、島津、
齋藤、高林、松本、森、小倉、谷口、
広野

以下の事について検討した。

〈検討事項〉

1. 会員管理システム－マルチメディア工房陽の古川氏より進捗状況を聞く。システムを効率よくするためには製作費が15～20万円程度別途必要との報告を受け、承認する。また、システムに多くの情報を入れる必要はあるが経費がかかるため、毎年予算を立てながら更新していく。
2. 会費の値上げ－現状は、前年度繰越金が300万円程ある。年々、事務局の必要経費が増加傾向にあるが、今年度の値上げは保留とする。平成27年度定期総会時に、将来的に値上げする可能性が予測されるため財務状況を説明する。
3. 協会との協定書の締結－異議なく締結書を提出する予定。
4. 東海北陸OT学会の開催時期－全国学会（9月開催予定）や県学会の時期も含めると11月開催が適当ではないかという案を東海北陸連絡協議会に提出する。
5. 理事会議事録の輪番制
－異議なく6月から開始する。
6. 会員へのメールでの配信体制
－会員管理システムを利用できるよう検討する。
7. 総会日程、内容
－6月7日あるいは14日で検討中。
8. 平成27年度功労表彰－本郷朋子氏、津島朋美氏(山田温泉病院)、扇山和也氏(リハビリデイサービス高岡)、濱田朋子氏(黒部市民病院)、開澤裕子氏(国立病院機構北陸病院)推薦。

〈報告事項〉

1. OT協会との全国研修会打合せ会議
－4月18日13:30～富山国際会議場
2. 平成26年度地域医療再生リハビリ従事者業務

啓発事業補助金実績報告書－事業報告書（作業療法体験会、健康と長寿の祭典）、収支決算書（事業費359,784円うち補助金30万円）を3月27日付けで提出

3. 生涯教育制度推進担当者
－谷口氏を推薦（任期29年3月31日まで）
4. 第6回訪問リハビリテーション地域リーダー会議 5月21、22日 東京－田邊氏、河原氏推薦
5. 第1回 47都道府県委員会
4月12日 10:00～12:30 東京
・新しい介護予防・日常生活支援総合事業（27年4月1日改正）→地域リハビリテーション活動支援事業の追加＝地域における介護予防の取り組みを機能強化するために、通所・訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の憩いの場へのリハビリテーション専門職等の関与を促進する。
→地域支援事業の先駆的取り組み－茨城県、北海道士会の報告。
第2回5月31日（広野氏出席）は認知症関連事業について報告。
- ・26年度までに生活行為向上マネージメント研修をおえた協会員には27年4月1日付けの修了証を送る。
- ・引続き13:15～16:30 PT・OT・ST協会三士会長合同会議
地域支援事業を三士会協働事業として実施していく体制の構築
→モデルケース茨木・山梨・大分県士会の紹介
→各県士会別行動指針の作成
→富山県三士会会議を4月中に開催し、人材派遣・育成等を検討。
6. 生活行為向上、認知症初期集中研修会進捗状況
施設使用願い・講師依頼に関する公文書を関連施設に送付予定。
7. 南砺市医師会在宅医療連携に関わる情報交換運営世話人会－神野剛氏に交代。
8. 教育部－きときとハンドセラピィ勉強会をSIGとして承認。
9. 富山医療福祉専門学校施設使用料－1時間4,000円での使用となる。

Toyama

Prosthetics & Orthotics Service

<http://www.tpo-morita.com>



【営業品目】

義手・義足・補装具等 製作修理

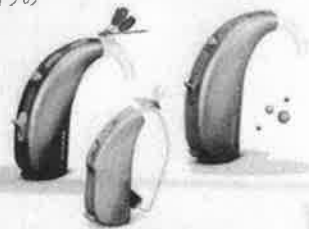
オーダーメイド靴 製作

車椅子・ストーマ・補聴器

福祉用具貸与販売

高度・重度難聴の方をサポートする、クエストシリーズのパワー&防水タイプの補聴器です。

Phonak Quest



(株)富山県義肢製作所 富山県補聴器センター

〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16

TEL (076) 425-4279

FAX (076) 425-4587

E-mail t-gishi@cronos.ocn.ne.jp

介護保険対応! ベッド・車椅子・レンタル!

車椅子
→ 480円より
ベッド
→ 700円より

リースナブル



株式会社 **ウィル**

TEL (0766) **56-7099**
FAX 56-3395



手芸・毛糸の店

- 手芸糸 ハマナカ
 - 刺し子 オリムパス、ナスカ
 - ビーズ手芸 トーホー、ミュキ
 - マクラメ糸 ダルマ、川端
 - ちりめん手芸 東芸
 - その他 S.M、M.B他
- 各手芸材料取り扱っています。



ボタン・手芸・毛糸

スギマサ

〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9

TEL (076) 421-3444

FAX (076) 421-4334

障害老人部会 研修会

テーマ：

「生活行為向上マネージメント④」

開催日時：8月9日(日) 9:30～12:30

会場：厚生連高岡病院

担当部会：障害老人部会

窓口・申し込み方法：

介護老人保健施設ケアポート庄川

(担当 成瀬 優)

FAX:0763-82-4192

email:naruseyuuu@yahoo.co.jp

申し込み締切日：7月13日(月)

発達障害部会 研修会

テーマ：

「アセスメントから始まる具体的支援
- 特別支援教育は科学だ -」

講師：山田充氏

(大阪府堺市立日置荘小学校 教諭、
特別支援教育士スーパーバイザー、
自閉症スペクトラム支援士アドバンス)

日時：平成27年7月26日(日)

9:30～15:30

会場：富山医療福祉専門学校

参加費：3,000円

お問い合わせ：

くろべ福祉会 松本まで

TEL：0765-56-7284

申し込み締切日：6月30日(火)

※申込み方法など、詳しくは県士会

HPをご覧ください

賛助会員名簿

(順不同)

会員名(代表者)	住所	備考
温泉リハビリテーション いま泉病院 (理事長 大西仙泰)	〒939-8075 富山市今泉220 TEL076-425-1166	
(株)ウイル (代表取締役 黒田 勉)	〒939-0311 射水市黒河3075 TEL0766-56-7099	
富山医療福祉専門学校 (学校長 辻 政彦)	〒936-0023 滑川市柳原149-9 TEL076-476-0001	
(株)スギマサ洋装店 (代表取締役 杉政正規)	〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9 TEL076-421-3444	
学校法人金城学園 金城大学 医療健康学部 (理事長 加藤 晃)	924-8511 石川県白山市笠間町1200 TEL076-276-4400(代)	

編集後記

厚生連高岡病院 向 慎司

慌ただしい新年度が落ち着き、少し穏やかな時間が訪れています。県士会活動においては、今年度の事業も多くあり他方で会議が開催されていると思います。広報部では、部長が変わり新しいカラーで活動し始めています。

部長期間中には県士会広報活動のため、記事や写真などを色々な施設や個人にお願いし、快諾していただきましてありがとうございました。急な話にも快く受けいただきスムーズな広報活動ができたと思います。また、他方面からのご指摘をうけその対応にも部員、ならびに理事の方には大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

ニュース100号では、歴代の広報部長からのコメントをいただき、その時代、情勢での部長の思い、考えに触れることができ大変頼もしく、またその思いを受け継ぎ、引き継がなければと思ひ昨年までがんばらせていただきました。

今年度より部長が変わり、今まで以上に活発な広報活動になるように後方より支援させていただきたいと思っています。これからも県士会広報をよろしく願いいたします。